

**京都市ごみ減量推進会議
の活動について**
(手をとりあってごみを減らそう！
市民・事業者・行政の
パートナーシップによるごみ減量)

平成29年6月6日(火)

京都市ごみ減量推進会議

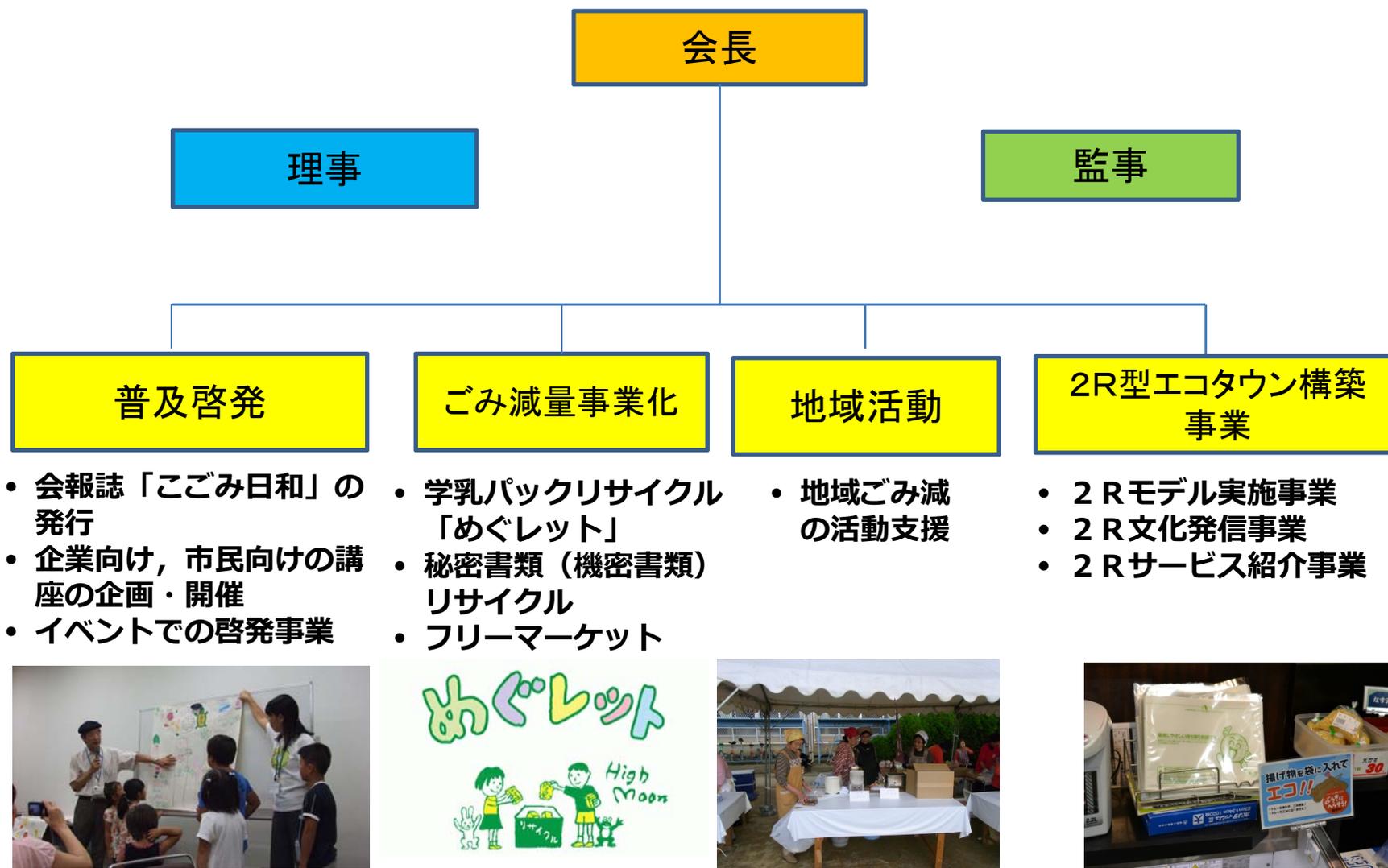
京都市ごみ減量推進会議とは？

- 市民・事業者・京都市が協力して、ごみの減量に取り組むため、平成8年11月に設立。
- 自発性とパートナーシップを基本に、ごみ減量の意識高揚と地域での自主的な取組を促進することにより、ごみ減量を通じた「人づくり」「まちづくり」を目指す。
- 財源は、主に京都市の指定ごみ袋の販売収益基金からの補助金。
- 会長 高月紘（京都大学名誉教授・京エコロジーセンター館長）
- 会員数：505団体（平成29年3月31日現在）
- 4つの実行委員会とその中にある小委員会で、さまざまな事業をおこなっている。

手を取りあって ごみを減らそう！
京都市ごみ減量推進会議



京都市ごみ減量推進会議の体制・活動



普及啓発実行委員会の活動

・広報小委員会

京都市ごみ減量推進会議の活動を広報する。
ホームページの運営・更新, パンフレットの作成等。

・会報誌小委員会

会員向けの広報誌「ごみ日和」の企画・編集・発行。
会員や会員外の取組の紹介, 市ごみ減からの情報提供。
一般向け配架先の拡大。

・ごみ減量啓発イベント小委員会

市内各地のイベントで, ブース出展の企画・実施。
市ごみ減の活動紹介やごみ減量の啓発も。

・講座小委員会

企業向け, 一般市民・親子向けの啓発講座の企画・実施。

ごみ減量事業化実行委員会の活動

- **再生紙推進事業**

京都市内の市立小学校の給食で出される牛乳パックを回収し、再生紙として活用（トイレットペーパー「めぐレット」）として再利用）する事業を支援。

- **フリーマーケットの開催・運営**

会員の修理事業者の協力による修理ブースも出店。
環境啓発ブース，行政の取組啓発ブースも出展。

- **市民等からの提案によるごみ減量モデル事業の募集と助成**

市民や事業者団体による循環型社会の実現に資する事業を公募し，助成金を支給。

- **秘密書類リサイクル事業**

会員事業者から排出される機密書類を回収，溶解・リサイクル処理事業者に搬入。

2R型エコタウン構築事業実行委員会の活動

- **2Rモデル実施事業**

2R型ライフスタイルを取り入れ、実践していくための実験的な事業を実施。課題や実施時の留意事項を取りまとめる。

- **2R文化発信事業**

2Rの考え方や行動様式の発信。

2R行動につながる施策やサービスの紹介。

- **2Rサービス紹介事業**

事業者が京都市内で展開する2R型サービス(修理・中古品買取,フリーマーケット開催情報等)を紹介し,利用につなげる。
(京のお直し屋さんとリユースショップ紹介サイト「もっぺん」)

地域活動実行委員会の活動

- **地域ごみ減量推進会議の設立**
京都市域222学区(ブロック)それぞれに、地域ごみ減量推進会議を設立する活動。
- **地域ごみ減量推進会議の活動支援**
各学区(ブロック)地域ごみ減推進会議への活動情報の提供。
各学区地域ごみ減を包括する行政区ごとの会議の運営支援。
全体会議の開催による相互の情報交換や啓発の場の提供。
活動のための選択講座の提供。
活動助成金の支給。

地域ごみ減量推進会議とは？

- 「地域」の力を結集して、ごみ減量活動を推進している組織。
(平成29年3月末現在, 194学区, 201団体)
- 地域の住民,事業者による地域に根差したボランティア活動として実施。
- ごみ減量の意識の浸透や行動を地域住民や事業者に促し、生活スタイルや事業活動の見直しを進める活動を行っている。

具体的な活動

学ぶ：施設見学会への参加、環境学習会の開催など

再利用の促進：フリーマーケットでの出店など

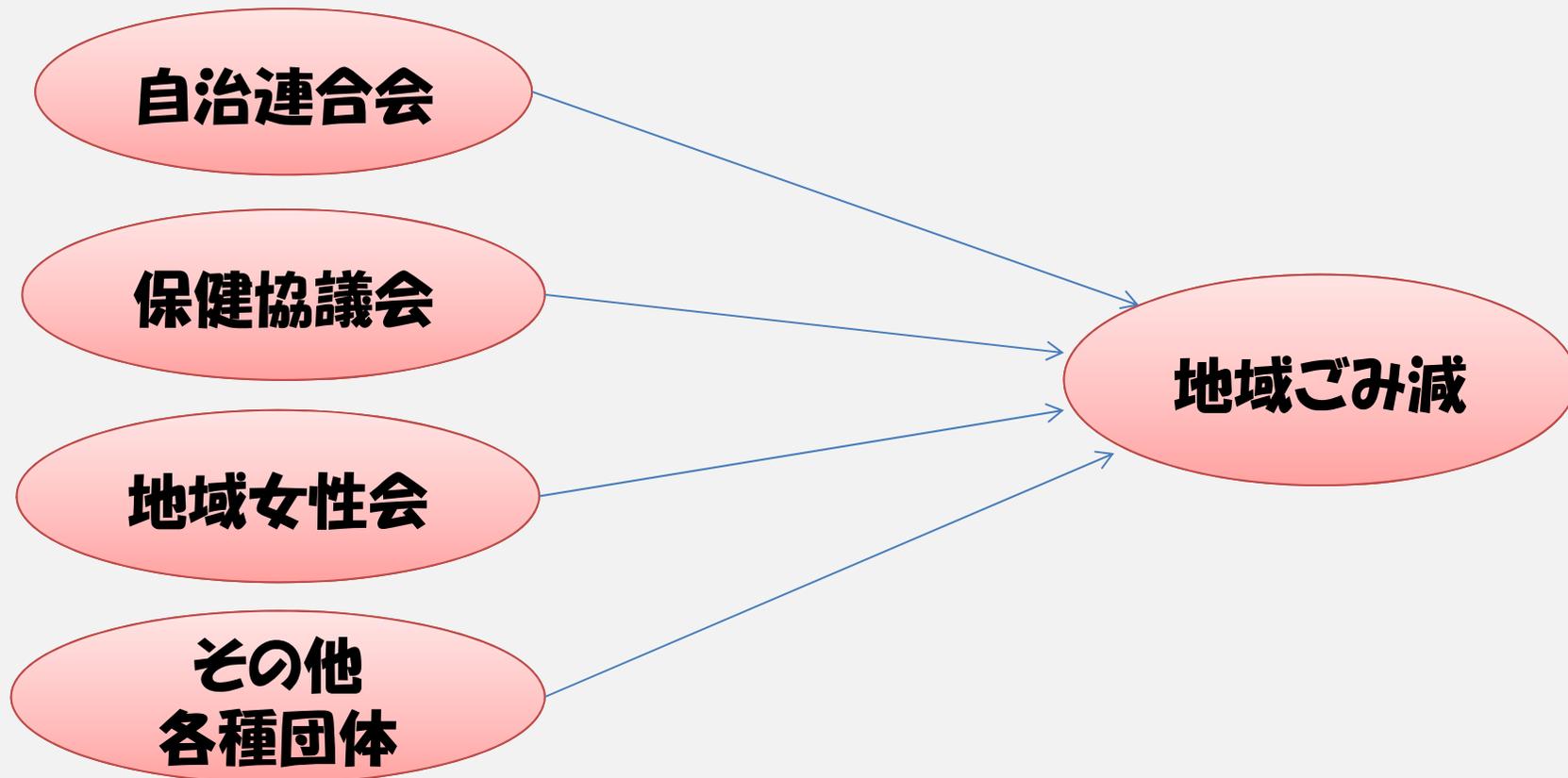
資源回収：古紙回収等や、使用済てんぷら油回収など

啓発活動：レジ袋削減の呼びかけ、広報誌の発行など

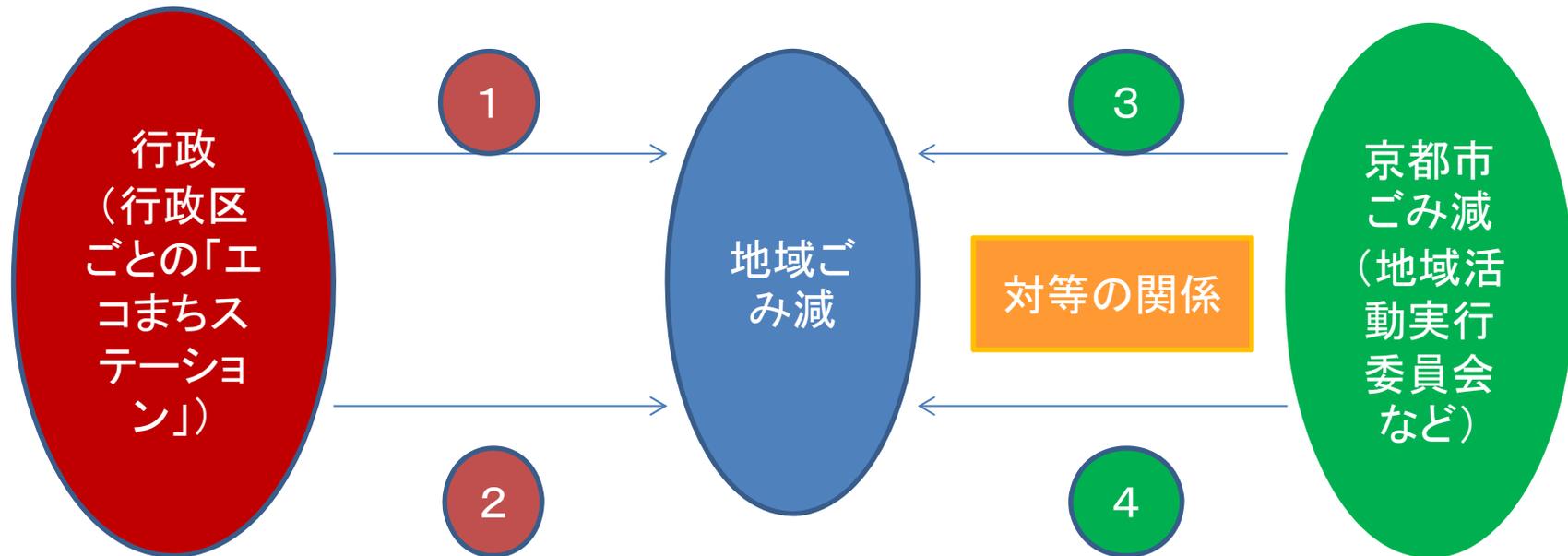
その他：清掃活動、落ち葉の堆肥化、イベントのエコ化など

地域ごみ減量推進会議の担い手

- 地域(学区)に存在する各種団体のいずれかを母体として構成。
- 担い手の高齢化や組織率の低下などの各種団体の課題は地域ごみ減の課題でもある。



各学区地域ごみ減に対する活動の支援



- ① 拠点回収, コミュニティ回収拠点設置の依頼と助成金支給
- ② 活動に関する行政サービスの紹介, 利用アドバイス
- ③ 講座, イベントの案内や活動情報の提供, 選択講座の提供 (再掲)
- ④ 行政の助成金が対象としない活動への申請に基づく助成金支給 (再掲)

京都市ごみ減量推進会議がこれから進めていくこと

京都市が廃棄物に関する条例を改正し、2R型生活を強く指向。

京都市ごみ減量推進会議としても、地域ごみ減量推進会議をはじめとする会員などの様々なチャンネルを通じて、また、社会の様々な団体と連携を図りつつ、事業者・市民を結果としてごみが減る2R生活の実践へ誘導していく。

⇒ ライフステージに応じた物との付き合い方を講座の開催などで提案していく。

⇒ 2Rを実践するためのフリーマーケットやリユースに関する情報の提供をより強化していく。

⇒ 地域ごみ減量推進会議の活動支援を通して、市民にとってより身近なところで2Rを実践できる場を提供していく。

⇒ 「生活のアウトソーシング」の見直しを提案。(自分の手で)

⇒ 目的を異にする団体とも連携し、2R視点の考え方を取り入れてもらうことで、活動の担い手と訴求力の拡大を図る。

最近の取り組み

○ラジオコーナー「コンパクトライフで、ごみ減量」(平成27年度)

○啓発イベント「フェスティバル」

平成26年度「紙フェス」

平成27年度「布フェス」

平成28年度「食」

○平成の茶会・大茶会(平成28年度)

○もっぺん出張所(平成29年度)

※ 以上, HP(<http://kyoto-gomigen.jp>)参照。

○「リーフ茶の普及で、ペットボトルを減らそうキャンペーン」
(平成28年度～)

※ 以上, HP特設サイト(<http://kyoto-leaftea.net>)